

釜石市 加木屋中学校 心の交流

～東海市 輝く学校づくり事業～

東海市立加木屋中学校では、「言葉磨き・心磨き」を学校のテーマとし、短歌・俳句づくり、ボランティア活動など様々な活動を行っています。その活動の一つとして、東海市とかかわりのふかい釜石市を訪問し、仮設住宅に住む被災者の方との交流活動を積極的に行ってまいりました。

この交流は平成25年にはじまり本年度で4回目となります。第1回（平成25年8月）は1年生の2名が現地を訪問しました。被災地の悲慘な状況を見聞きし、それを全校生徒に伝えました。

第2回（平成26年8月）は吹奏楽部が訪問しました。進まぬ復興の状況を目の当たりにし、被災地の厳しさを肌で感じることができました。仮設住宅での演奏会にはたくさんの被災者の方に来ていただき加木屋中学校吹奏楽部の演奏を聴いていただきました。

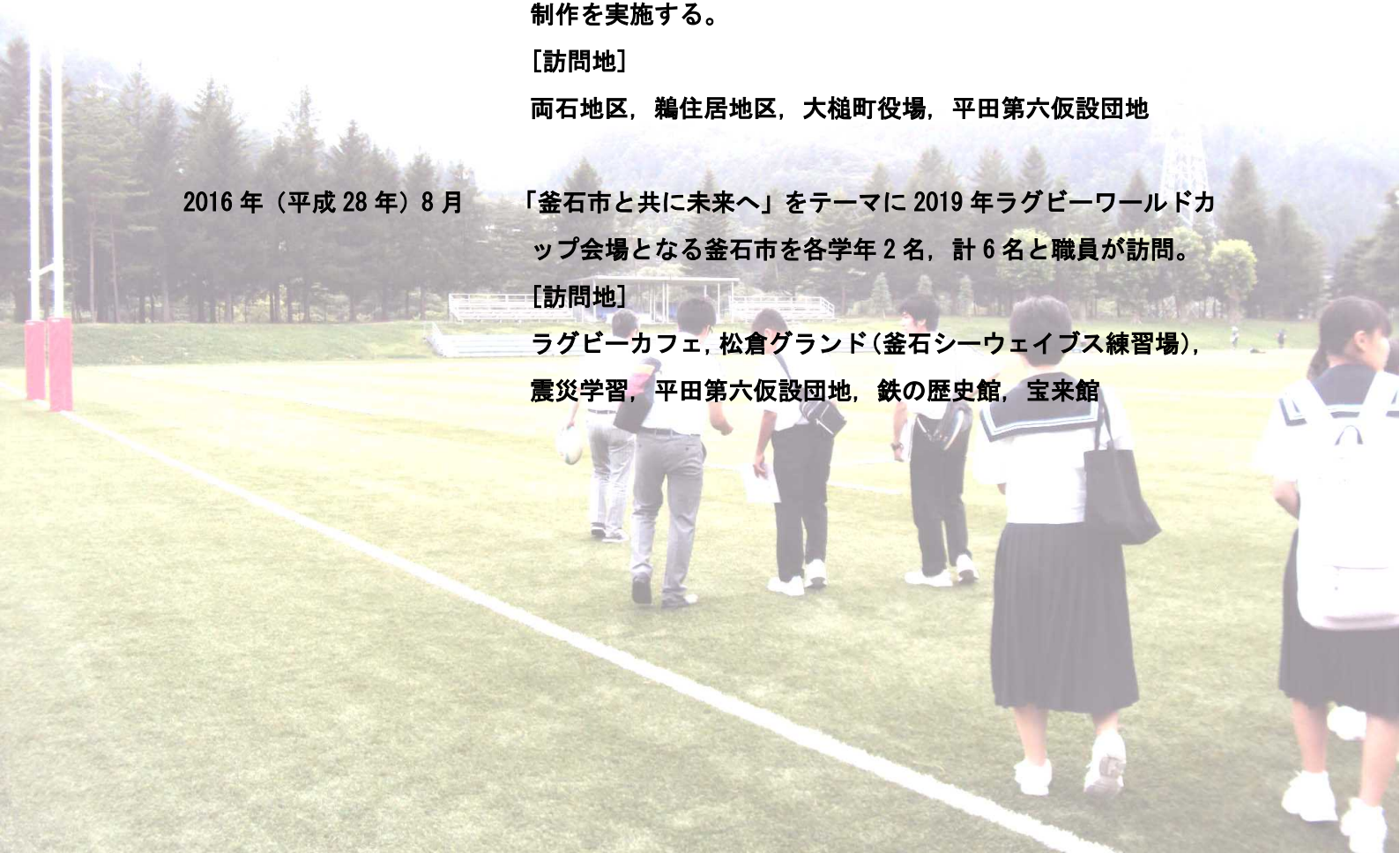
第3回（平成27年7月）は美術部が釜石を訪問しました。現地では被災した場所のスケッチをし、それを学校に持ち帰り、復興半ばの状況を全校生徒に伝えました。また、現地では子どもやお年寄りを対象に共同制作によるワークショップを実施。たくさんの方に参加いただきました。その作品は今でも現地に飾られています。

そして本年度、第4回（平成28年8月）は今までの積み重ねをさらに拡大し、被災地で何ができるか、全校生徒で真剣に考えました。そこで、復興を「心」で応援したいという思いから、2019年に釜石市で開催されるラグビーワールドカップを全校生徒で応援することになりました。「釜石市と共に未来へ」をテーマに各学年代表2名、計6名がプロジェクトチーム4K（K…加木屋中 K…釜石市 K…心の交流 K…絆）を立ち上げ、8月2日（火）3日（水）に、釜石市を訪問しました。ワールドカップ推進委員会の方からお話を聞いたり、現地のアンテナショップの訪問をしたり、継続している仮設住宅訪問などの活動を終え2学期には全校集会で報告会を行いました。

継続してきた釜石市と本校との交流は被災地の状況を子どもたちが実際に見て知ること、あるいは被災地でできる支援を考えるなど日頃の学校生活や心の教育に役立っています。

釜石市 加木屋中学校 心の交流 これまでのあゆみ 2013－2016

- 2013 年（平成 25 年）8 月 東海市かがやく学校事業として被災地（釜石市）に 1 年生
2 名，校長，職員 1 名が訪問
[訪問地]
両石地区，鵜住居地区（鵜住居小学校，釜石東中学校），
大槌町役場青葉公園商店街（仮設住宅）
- 2014 年（平成 26 年）8 月 「釜石へ心を」 ～音楽を通しての心の交流～
をテーマに吹奏楽部員と職員が訪問。仮設住宅で演奏会を行う
[訪問地]
両石地区，鵜住居地区，大槌町役場，平田第六仮設団地
- 2015 年（平成 27 年）7 月 「そこに生きる復興の力強さ」 ～美術を通しての心の交流～
をテーマに美術部員と職員が訪問。仮設住宅で美術作品の共同
制作を実施する。
[訪問地]
両石地区，鵜住居地区，大槌町役場，平田第六仮設団地
- 2016 年（平成 28 年）8 月 「釜石市と共に未来へ」をテーマに 2019 年ラグビーワールドカ
ップ会場となる釜石市を各学年 2 名，計 6 名と職員が訪問。
[訪問地]
ラグビーカフェ，松倉グランド（釜石シーウェイブス練習場），
震災学習，平田第六仮設団地，鉄の歴史館，宝来館



釜石市 加木屋中学校 心の交流展

～東海市 輝く学校づくり事業～ 2017. 1. 23～2. 1 (東海市芸術劇場)

